



令和5年2月24日
宇和島市立立間小学校

家庭における防災準備

坂本新一郎

「立間防災フェスティバル」にはたくさんの保護者や地域の皆さん、関係諸機関の方々に参加していただき、ありがとうございました。令和5年度は、起震車体験や防災食の試食など、魅力ある体験活動を数多く計画していき、地域に根差した活動となるよう、重点的に取り組んでいきたいと考えています。これからも地域と連携した防災教育への御協力・御支援をお願いいたします。

さて、南海トラフ地震の発生予測を耳にすることが多くなってから、もうかなりの期間が過ぎていきます。行政の防災・減災対策としての巨大地震への備えは着実に進んでいますが、御家庭での対策は万全でしょうか。避難経路の確認や非常用持ち出し袋の準備など、今できることは必ずやっておきましょう。『自助（一人一人の役割）・共助（地域の役割）・公助（行政の役割）』の連携の輪を広げていきましょう。

ところで、防災食に限らず日持ちする食材を日ごろから備蓄しておき、食べた分だけ買い足し、常に新しい食材を備蓄する「ローリングストック法」を御存知ですか。防災食として開発された食品は消費期限が長い反面、高価なものが多いです。気付かないうちに消費期限が切れてしまっていたということもあるのではないのでしょうか。ローリングストック法には賞味期限切れを防ぎながら食品ロスを減らすだけでなく、食べ慣れた食品を備蓄できるというメリットもあります。常に備蓄を切らさないように循環させていくことは、いざという時の迅速で的確な行動につながるのではないのでしょうか。

全力でタスキをつなげ！～吉田町駅伝競走大会～



2月4日（土）に吉田町駅伝競走大会が行われました。実に3年ぶりの開催です。参加した児童一人一人が力走し、その結果、立間Aチームが2位、区間賞が2名というすばらしい成績を収めました。

みんなが「チームのために」という気持ちを持って全力で走る姿を見ていると、1本のタスキをチーム一丸となって運ぶ「絆」のようなものが感じられ、思わず大きな声で応援していました。

子どもたちの頑張りに、駅伝の魅力を感じた一日でした。立間っ子たち、最高の笑顔です！

コロナに負けるな！～学校現場は今～

学校現場では、引き続きコロナウイルス感染症対策を取りながらも、少しずつ元の学校生活に戻しているようにしています。

昼休みに全校遊びで「けいどろ」をしました。久しぶりの全校遊びだったので、子どもたちは、とてもうれしそうに運動場を走り回っていました。「いっぱい汗かいたけど、楽しかった。」と話してくる児童もいました。



立間小学校で研究会を行いました。市内から多くの先生方に、1年生の算数の授業を参観していただきました。一人一人が、自分なりに一生懸命考えて発表したり、友達の考えを聞いて自分の考えを深めたりしていました。